

2008 年度卒業論文

オンライン履修登録システムの検討

担当教員 渡辺 恭人

千葉商科大学政策情報学部

学籍番号 0540007

村尾 一也

概要

近年、パーソナルコンピュータとインターネットの普及・発展により生活、社会のさまざまな場面において、オンラインにできるものはすべてオンラインになっており、大学の履修登録システムも例外ではない。本学ではオンラインによる履修登録システムは実装されていないが、導入されるにあたり、履修登録の状況や問題点を明らかにし、本学にとって適切なオンラインでの履修システムを検討する。

千葉商科大学政策情報学部における履修登録システムを調査し、他大学ではどのようなオンライン履修登録システムを利用しているのかをサーベイし、オンライン履修システムの比較を行った。システムの比較を踏まえ、本学におけるオンライン履修システムの導入において提案、考察を行った。

1 章では背景・目的を述べ、2 章では千葉商科大学における履修登録の現状を調査し、まとめた。3 章では他大学の履修登録についてのサーベイを行った。4 章ではオンライン履修登録システムの調査や分析、システムをモデル化し、5 章で本学におけるオンライン履修登録システムの提案を行った。

目次

概要.....	2
1. 背景・目的.....	5
1.1 背景.....	5
1.2 目的.....	5
2. 千葉商科大学における履修登録の現状.....	6
2.1 本学の履修登録システムの現状.....	6
(1) 履修登録の方法.....	6
(2) 履修登録の流れ.....	6
2.2 マークシートの問題点.....	7
2.3 まとめ.....	8
3. 他大学における履修登録について.....	9
3.1 東京大学のサービス.....	9
3.2 駒沢大学のサービス.....	10
3.3 神戸学院大学のサービス.....	11
3.4 福岡工業大学のサービス.....	12
3.5 成城学園のサービス.....	14
3.6 まとめ.....	15
4. オンライン履修登録システムのモデル.....	16
4.1 既存システムの調査と分析.....	16
(1) 構成・手順.....	17
4.2 システムのモデル化.....	28
4.3 システムの目標.....	31
5. 本学におけるオンライン履修登録システム.....	32
5.1 本学のオンラインシステムの現状.....	32
5.2 本学で導入予定のオンライン履修登録システム.....	32
5.3 本学と他大学の比較	52
5.4 大学におけるオンライン履修登録システムの提案.....	54
(1) 必要条件.....	54

(2) 基本機能.....	54
(3) 追加機能.....	54
(4) システム構成.....	55
5.5 本学におけるオンライン履修登録システム導入にあたっての考察	55
6. まとめと今後の課題.....	57
6.1 まとめ.....	57
6.2 今後の課題.....	57
参考文献.....	58
謝辞.....	59

1. 背景・目的

1.1 背景

近年、パーソナルコンピュータとインターネットの普及や発展により、生活、社会のさまざまな場面において情報化が行われている。つまり、オンラインで可能なものはすべてオンラインになっている。大学においても同様であり、学生一人一人で異なる履修や単位取得情報の情報管理の情報化が、事務作業の効率化と学生の利便性からも求められている。Web を利用した履修登録システムというものがある。オンライン履修システムの機能の充実により、履修する以外にも多くのメリットがあり、多くの他大学がオンラインでの履修システムを導入している。我が大学ではインターネットを通じてウェルネスの予約や休講情報の確認を行うことが可能であるが、オンライン履修システムは導入されていない。そこでこれまでの履修登録の現状や問題点を明らかにし、大学にとって（教務・学生それぞれにとって）適切なオンラインでの履修システムを検討する必要がある。

1.2 目的

本研究では、講義の履修についてインターネットで行うことにより登録がいつでもどこでも行えるようにすることで、学生はもちろん、大学事務のシステムを効率化することを目的とする。また、既存のシステムだけで本当に満足なのかを考え、本学に導入すべきオンラインでの履修登録について検討し提案を行う。

2. 千葉商科大学政策情報学部における履修登録の現状

この章では CUC の履修登録システムの現状を調査し問題点を議論する。

2.1 本学の履修登録システムの現状

(1) 履修登録の方法

履修登録は、年に 2 回、セメスターごとに行われる。履修登録は、大きく 2 つに分かれている。

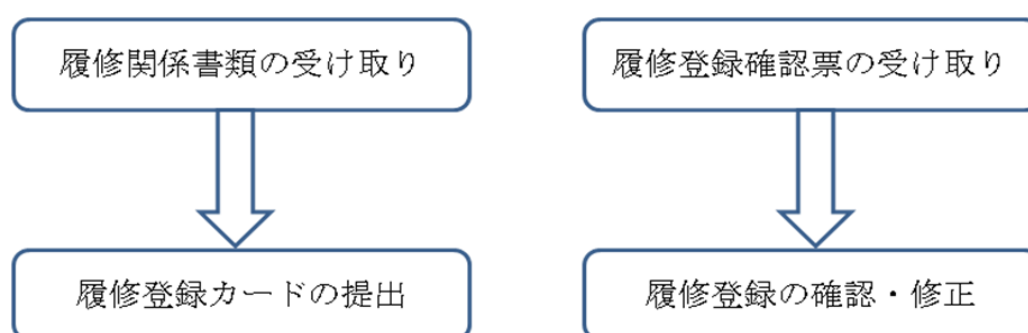


図 2.1-1 履修登録の方法

図 2.1 はその 2 つであり、履修ガイド、シラバス、時間割表などをもとに、各自が 1 週間の履修計画をたて、授業に出席したうえで履修届用紙などを提出し、履修申請を行うまでの手続きと、履修申請後、履修登録確認票で履修に誤りがないかを確認する手続きがある。

(2) 履修登録の流れ

本大学では履修登録を行う際、配布資料として履修ガイド、シラバス、時間割表、マークシートが配られる。

本大学の履修登録はマークシートで行われている。配布資料の履修ガイドやシラバス、時間割表をもとに、1 週間の履修計画を立て、その学期に履修する科目をすべて記入する。その後で、ナビゲーターに、自分の 1 週間の時間割を報告し、アドバイスを受ける。ナビゲーターが確認すると判子が押してもらえ、履修届用紙を教務第二課へ提出できる。その後、履修登録確認票を受け取り、登録に修正がなければ履修登録完了となる。

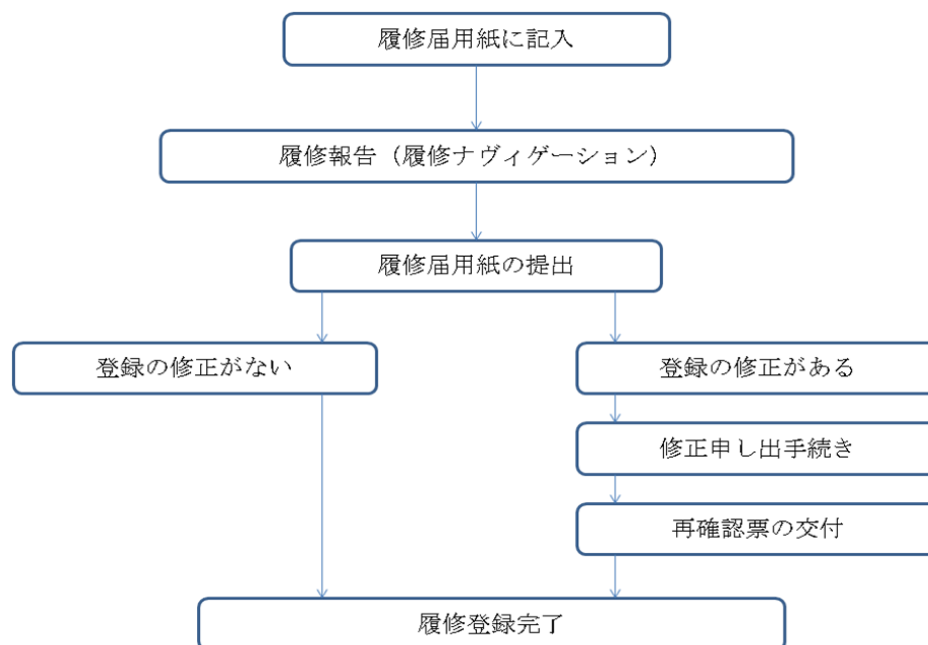


図 2.1-2 履修登録の流れ

2.2 マークシートの問題点

本学で使っているマークシートを紹介する。これは空欄であるが、本来ならば下のほうに住所や学籍番号等の個人情報が入力されている。曜日や時間割が表示されており、そこに自分の履修したい講義を記入していく仕組みである。

- 千葉商科大学政策情報学部 of マークシート

The image shows a sample of a mark sheet (マークシート) for course selection. It is a form with a header section containing fields for '年度' (Year), '学期' (Semester), and '学籍番号' (Student ID). Below the header is a table with columns for '曜日' (Day of the week) and '時間' (Time). The table is divided into sections for '履修' (Course selection) and '履修希望' (Course selection request). The form is designed for students to mark their preferred courses based on the displayed schedule.

図 2.2 マークシート

マークシートの問題点はいくつかある。それも学生の場合と教務課の場合で違ってくる。まず共通の以下の2つの問題がある。

1. マークシートを含む配布資料が紙であるので資源的な問題
2. 提出を行う際、教務第二課の窓口を持っていくので窓口が混み合う

マークシートや配布資料は紙である。マークシートは1人1枚、定員設定科目も履修する場合は2枚必要である。シラバスや履修ガイドも1年に一度配布される。マークシートは1枚か2枚だがそれでも人数分配となると、膨大な量になる。シラバスや履修ガイドは冊子となっているので、マークシートよりも多く資源を使う。

履修の際に履修に関しての質問をする学生が多く来る。そのため窓口が混み合ってしまう。履修以外の質問や手続きを行いたい学生もいるため、窓口は常時すいているほうが良い。

2.3 まとめ

現在の千葉商科大学政策情報学部履修登録システムはマークシートである。問題として資源的な問題や教務第二課の窓口が込み合うなどを挙げたが、良い点もある。それは履修計画を立て、時間割を報告し、ナビゲーターにアドバイスをもらい、判子をもらおうと提出ができるということである。これはナビゲーターに確認してもらい、判子をもらっているのだから、安心して提出できるということである。Webで履修登録が行えるようになると、ナビゲーターの判子なしで提出できる。オンライン履修登録システムが導入されると、代わりにナビゲーターの確認が必要なくなってしまうため、学生がしっかり自分の履修計画を立てなくてはならない。

3. 他大学における履修登録に

この章では他大学が行っているオンライン履修システムだけに限らず、オンラインでのサービスの現状を調査する。

3.1 東京大学のサービス



図 3.1 東京大学ログイン画面

東京大学にはインターネットを利用したシステムが2つあり、UTask-web と CFIVE があった。最初の UTask-web というのは東京大学の教務課が管理するページで事務手続きを行うことができる。部外者がログインすることはできないのでインターフェイスは不明である。履修登録やスケジュールの管理、成績や情報、授業の有無の閲覧をオンラインでできる。受講者に人数制限が出てしまうような抽選科目にも対応していて、締め切りまでに希望を出すところから、その結果を確認するところまで、全て UTask-Web 上で行うことができる。そして、履修科目が決定次第、自分の時間割が自動的に作成されるようになっている。UTask- Web では休講補講情報もわかり、自分の時間割をみると、教室変更が黄色、休講は赤色、補講は緑色といった具合に一目で分かるデザインになっているようだ。その他にも、電子シラバス参照・試験日程確認・成績確認など、ありとあらゆる事務手続きがインターネット上で出来るようになっている。

もう1つの CFIVE とは、東京大学情報基盤センターと日本ユニシス・ソリューション株式会社が共同で開発した学習管理システムで“Common Factory for Inspiration

and Value in Education”の略である。これは講義の補助システムで講義ごとにコンテンツがあり、例えば掲示板で受講者が質問をするとそれに対して先生が解答をし、生徒同士で意見の交換を行える。そのほかには先生が問題を作り生徒がCFIVEで解答し、レポート課題提出や授業教材の配布をインターネットで行う等有効活用しているようである。

3.2 駒沢大学のサービス

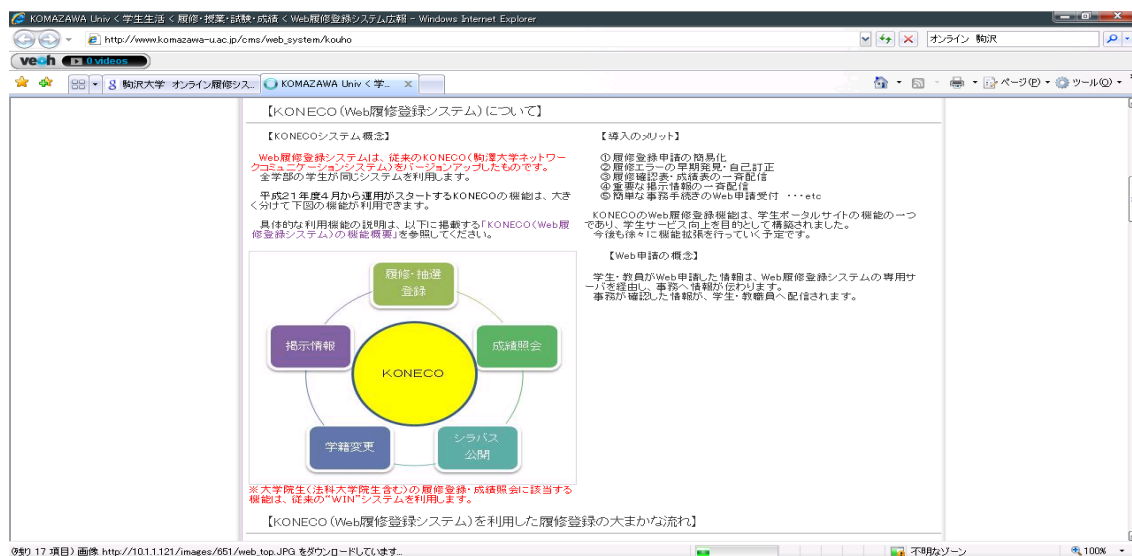


図 3.2 KONECO システム概念

駒沢大学ではまだオンライン履修登録システムは実装されていないが、平成21年度から実装されるようだ。全学部の学生が同じシステムを利用する。定員設定科目にも対応しており、抽選登録画面というものがある。これは履修登録期間より先に申請期間が設けられ、一覧の中から選択し登録できるようになっている。尚、同じコマに複数開講しているものがある場合は優先順位をつけ申請することができる。申請期間中ならば何度でも変更できるが、期間が過ぎ申請した科目が当選した場合取り消すことはできない。履修登録画面では、オンライン上で履修した科目を確認できるようになる。成績確認画面では紙面のものとほとんど同じ情報が表示され、進級判定、卒業判定も確認できる。資格希望登録、資格取得単位という項目もあり、教職課程や資格講座科目の登録もオンライン上で行える。学籍情報の変更では、住所・連絡先等をオンライン上で変更することが可能である。シラバスもちろんオンラインで見ること

ができる。駒沢大学では休講情報などは“KONEKO（コネコ）”というポータルサイトで情報公開していたが、引き続いてオンライン履修登録システム上で公開される。尚、「駒沢大学Web履修登録システム」の名称は、“KONEKO”の名称に統一するようである。

3.3 神戸学院大学

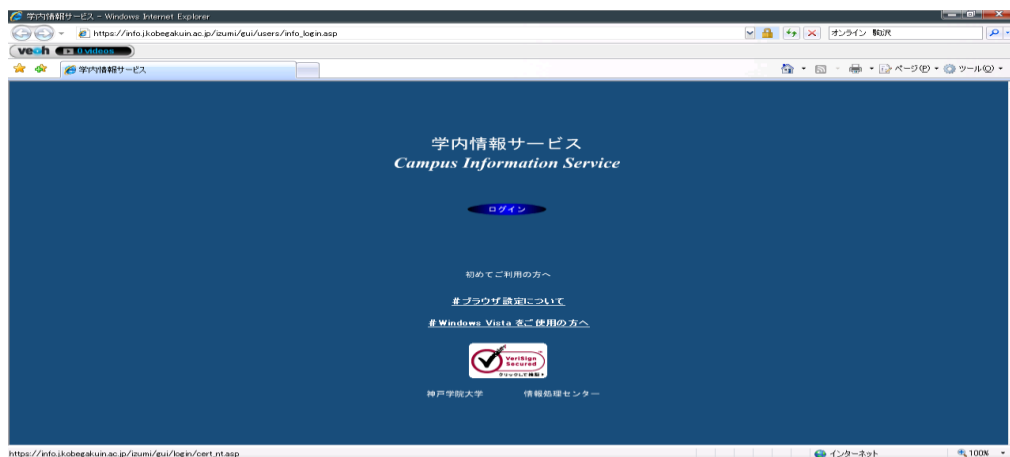


図 3.3-1 神戸学院大学ログイン画面

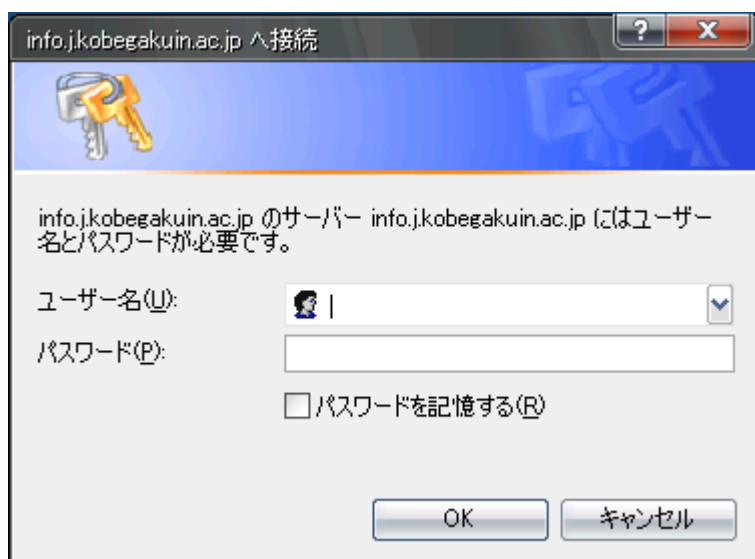


図 3.3-2 神戸学院大学 ID, PASS 入力画面

神戸学院大学のオンライン履修登録システムは公開時間が決められており、学外だと22時まで、学内からだると20時までとなっていた。ログインした学生が履修でき

る科目だけが表示されるサポートシステムがついているため、登録時に迷うことが少なくなる。選択した科目の講義内容や授業計画を参照しながら登録することができる。履修登録画面では、必修科目は文字が赤色、予備登録科目は青色等の工夫がされている。履修科目提出完了後に進級・卒業チェックが入り早い場合は数十分、遅い場合は翌日に「進級・卒業チェック完了通知」が通知され、エラーがなければ無事に終了する。神戸学院大学の Web システムは携帯からでも閲覧することが可能で、機種別のサービス一覧の表が掲載されていた。その表を表 3.3 に示す。

表 3.3 機種別サービス一覧

	パソコン	携帯
緊急ニュース	○	○
個人宛お知らせ	○	○
ニュース	○	○
Web 履修登録システム	○	×
定期試験時間割表示	○	○
休補講・教室変更通知	○	○
施設予約	○	×
アルバイト求人情報	○	×

神戸学院大学では携帯からのログインでは個人宛のお知らせや休講情報などを閲覧することはできるが、オンライン履修登録システムを使えない。

3.4 福岡工業大学のサービス



図 3.4-1 Web 学生情報ポータルサイト

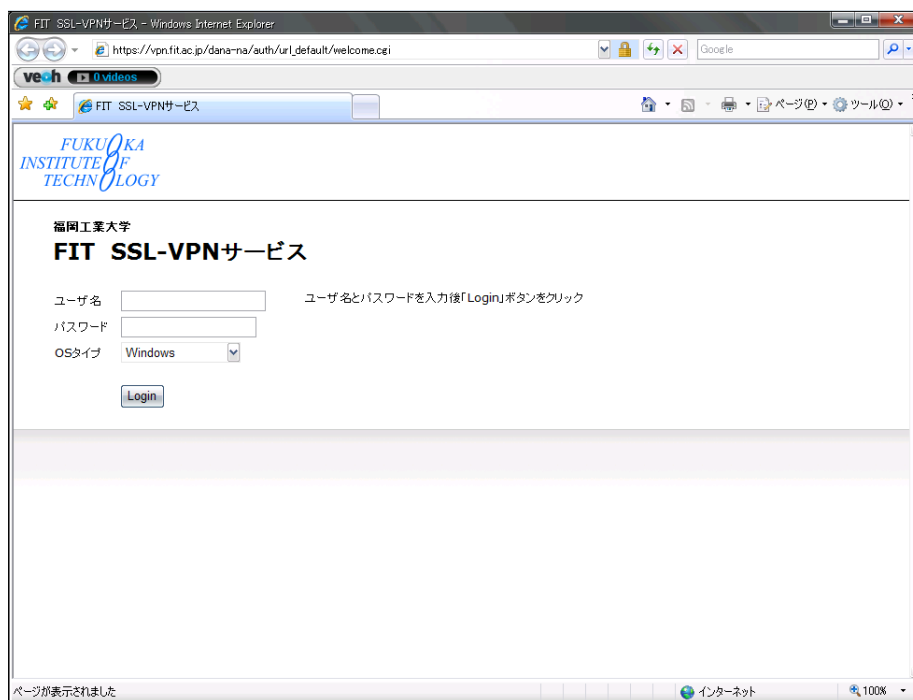


図 3.4-1 福岡工業大学ログイン画面

福岡工業大学では、Web 学生情報ポータルサイトというものがあり、在学生の各種学生情報を包括し、Web ページで情報を提供する場である。その中にいくつかの機能があ

り、オンライン履修登録システムもあった。その他の機能としては、学生呼び出し、授業関連情報、お知らせ、授業情報、時間割表、お気に入りタイトル、カレンダー、携帯電話向けマイ・インフォメーション機能の8つであった。まず学生呼び出し機能だが、これは事務局から個人宛に出された呼び出し情報を参照できるというものである。なお、呼び出し情報がない場合は表示されない。授業関連情報は自分が履修している授業の休講情報、補講情報、教室変更情報を参照できる機能である。お知らせは学生に向けた情報のお知らせであり、大学のイベント等のお知らせが届くと思われる。授業情報は授業スケジュールの確認、個人スケジュールの確認・登録できる機能である。授業スケジュールは、時間割表は時間割表として存在するので、自分の履修した授業のシラバスやテスト日などがわかるものと思われる。時間割表はすでに述べてきた大学のものと共通で履修登録した科目で個人の時間割表が見れるという機能である。お気に入りタイトルは個人でホームページへのリンクを登録可能とあった。ポータルサイトからそのままリンクしたい時に使うと思われる。カレンダーはその名の通りのカレンダーだが、カレンダーからの授業情報の参照、個人スケジュールの管理が利用可能である。携帯向けマイ・インフォメーション機能は神戸学院大学のものと同じく、お知らせ情報や休講情報を確認することができる。

3.5 成城学園のサービス

成城学園では Campus Square for Web（キャンパススクエアフォーウェブ）を使っており、学生生活に必要な各種情報をインターネットから閲覧・登録できるシステムである。利用できるサービスは8つあり、「学籍情報」、「履修状況」、「お知らせ掲示板」、「休講・補講」、「就職関連情報」、「休講等メール配信」、「就職・求人メール配信」、「アンケート」である。これまでの大学と違うのは、「就職関連情報」、「就職・求人メール配信」、「アンケート」の3つである。1つ目の就職関連情報は就職活動に必要な各種情報が閲覧できるサービスである。2つ目の求人・求人メール配信は当人の希望に沿った求人情報をメールで配信してくれるサービスである。3つめのアンケートは大学からアンケートが行われることがあり、それに答えるために設けられている。Campus Square for Web は在学中のみ利用可能出、アクセスするにはユーザ名とパスワードが必要である。

3.6 まとめ

5校について調べてみたが、本質的なシステムはそう変わらなかった。ただし、神戸学院大学だけは、オンライン履修登録システムの公開が決まっていた。携帯端末からログインできるシステム（オンライン履修登録は不可）の大学もあった。それ以外のところだと、時間割登録や講義情報、登録済み時間割などのシステムは共通して実装されていたが、細かいところで試験日確認、資格希望登録などのシステムは実装されているところもあれば、不明なところも未実装なところもあった。

4. オンライン履修登録システムのモデル

この章では既存のオンライン履修登録システムの現状を調査し、基本的な機能とモデルについて述べる。

4.1 オンライン履修登録システム

ソラン株式会社が、インターネット履修受付管理システムとして、「シラバス・アット・ネット」というものを出している。これは、履修登録の他、ログイン認証、時間割作成、講義情報（休講、教室変更など）、メンテナンスなど実践的な機能があり、大学事務システムの Web 化へスムーズに対応というのがポイントで、パソコン、携帯電話、家庭用ゲーム機など様々なユーザインターフェイスに対応している、というものである。

シラバス・アット・ネットの 5 つの特徴

1. インターネットを利用し、家庭から大学構内から、シラバス（履修）の登録・参照や受け付けができる。
2. パソコン、携帯電話、家庭用ゲーム機など様々なユーザインターフェイスに対応している。
3. カスタマイズサービスにより、学校ごとの要求に合わせた仕様に変更可能である。
新規開発に比べ大幅にコストが削減できる。
4. JAVA-Servlet による高速化と、データベースアクセスの高速化を実現している。
メンテナンスはサーバのみ。
5. TCO (Total Cost of Ownership の略称で、コンピュータシステムの導入、維持・管理などにかかる費用の総額のこと) 削減で運用も容易である。

動作環境は以下の図 4.1-1 に示す通りである

1. サーバ環境

OS : Windows Server 2003 SPI、Linux、UNIX

データベース : UDB V6.0 以上 (UDB V7.1 推奨)

Oracle10g

アプリケーションサーバ : Web Sphere V6.0

開発言語 : JAVA (JavaSererPage、Serviet)

2. クライアント環境

推奨ブラウザ：Internet Explorer V4.01 以上

(Internet Explorer V5.5 推奨)

Netscape Communicator V4.5 以上

(Netscape Communicator V4.7 推奨)

OS：Windows 95/98/2000/ME/XP 等

(上記ブラウザ稼動する環境であること)

また、家庭用ゲーム機および携帯情報端末等のブラウザも考慮して設計されている。

3. ハードウェア環境

メモリ：512MB 以上推奨

CPU：PentiumⅢ プロセッサ 500MHz 以上推奨

図 4.1-1 動作環境

(1) 構成・手順

次に本システムの実行状態について述べる。以下にデモ画面を示す。これらはソラン株式会社さんの HP に掲載されていたものである。図 4.1-2、図 4.1-3 にログイン画面を示す。

● ログイン画面 1 (ログイン ID)

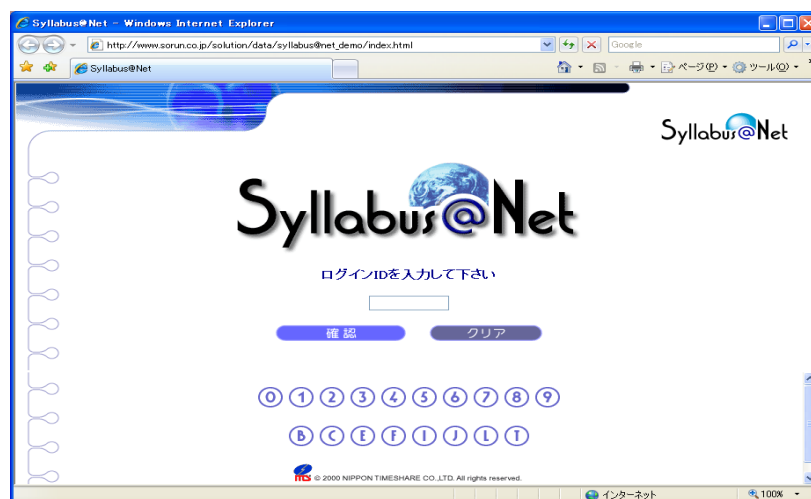


図 4.1-2 ログイン画面 1

- ログイン画面 2（パスワード）

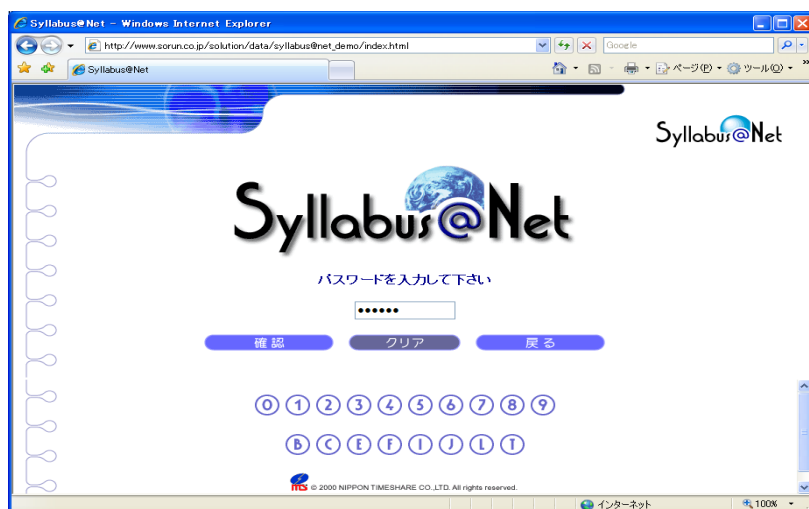


図 4.1-3 ログイン画面 2

ログイン画面では ID・パスワードどちらを入力する際でもキーボードでもマウスでもどちらからでも入力できた。

次に学生がログインした場合のメニュー画面を図 4.1-4 に示す。この画面では学生が使いたい機能を選ぶ。項目が 9 つあり、時間割登録画面、講義情報、授業科目内容、単位取得履歴、登録済時間割表示、質問箱、パスワード変更、お知らせ掲示板、終了とある。

- 学生がログインした時の画面

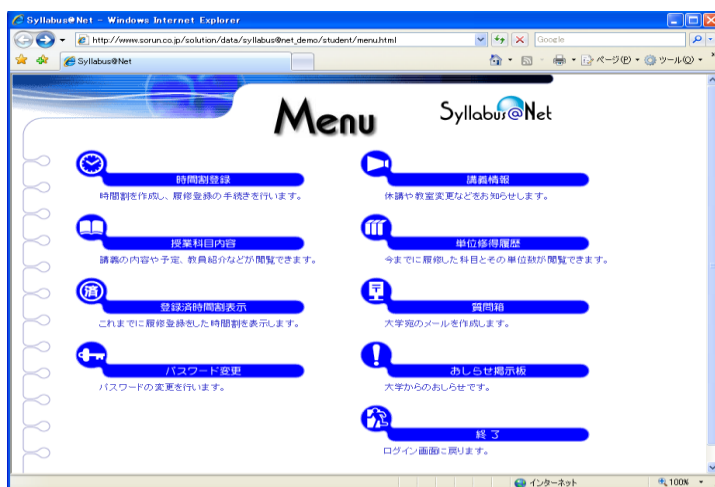


図 4.1-4 メニュー画面

図 4.1-5、4.1-6 に時間割登録画面を示す。この画面では、利用者が未登録であるところに自分の好きな授業を選び、時間割を登録する。

● 時間割登録画面 1/2

時間割登録

氏名: 山田一郎 学生証番号: 123456 日付: 2008/10/22 登録日: 00/08/28 単位数合計: 40

	月	火	水	木	金	土
1	未登録	経済学 【鈴木 圭】 225	未登録	未登録	未登録	未登録
2	法学 【柴部 純子】 413	世界史 【小林隆夫】 115	マクロ経済 【井藤隆史】 115	未登録	消費者行動 【竹内 浩】 355	政治学 【衣田由紀子】 115
3	未登録	経済学 【湯野 良子】 441	未登録	未登録	未登録	未登録
4	経済学 【川口 満】 431	未登録	アメリカ経済史 【小林京子】 541	未登録	未登録	未登録
5	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

図 4.1-5 時間割登録画面 1

● 時間割登録画面 2/2

4	経済学 【川口 満】 431	未登録	アメリカ経済史 【小林京子】 541	未登録	未登録	未登録
5	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
6	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
7	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

卒業研究		集中講義			
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

履修確定
 仮登録
 印刷
 メニューに戻る

図 4.1-6 時間割登録画面 2

図 4.1-7 に講義情報画面を示す。この画面では、掲載日、担当教員、講義情報を確認することができ、各講義の休講情報や教室変更案内等を閲覧することができる。

- 講義情報画面



図 4.1-7 講義情報

図 4.1-8 に授業科目一覧画面を示す。この画面では選んだ条件の授業科目の一覧を表示でき、検索をかけると下のほうに条件が一致した科目が表示される。

- 授業科目一覧画面



図 4.1-8 授業科目一覧画面 1



図 4.1-9 授業科目一覧画面 2

さらに科目をクリックすると詳しい授業科目内容を参照することができる。

- 授業科目内容

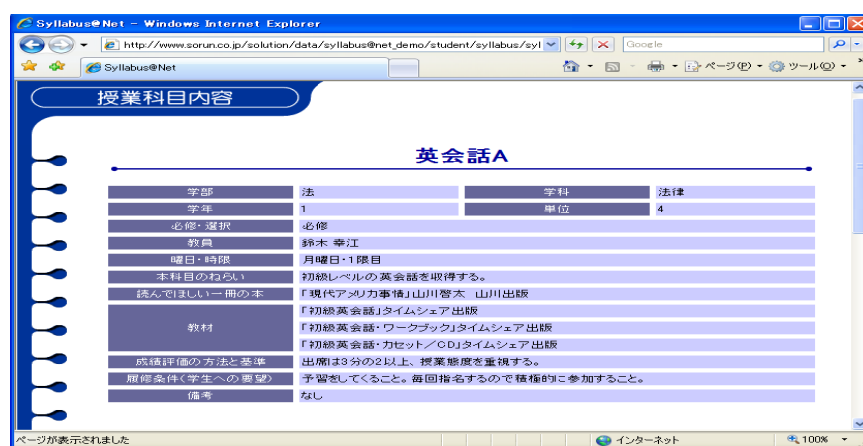


図 4.1-10-1 授業科目一覧画面 3

The screenshot shows a web browser window titled "Syllabus@Net - Windows Internet Explorer" with the URL "http://www.sorun.co.jp/solution/data/syllabus@net_demo/student/syllabus/syl1". The page displays a table titled "講義予定" (Lecture Schedule).

日付	講義内容	教材	宿題	備考
4/10	"How!! New York is a Wonderful city!" 感嘆符をどのように会話に取り入れるかを学ぶ。	「初級英会話」レッスンP12_15	「初級英会話ワークブック」P7_8	
4/17	"Nice to meet you." TPO に応じた挨拶の仕方を選び、臨機応変な対応が出来るようになる。	「初級英会話」レッスンP16_20	「初級英会話ワークブック」P10_20	講義内容
4/24	"About Chicago." シカゴを題材に英会話を学ぶ。	「初級英会話」レッスンP21_25	「初級英会話ワークブック」P10_21	講義内容
5/1	休校			
5/8	第一回小テスト			
5/15	"How!! New York is a Wonderful city!" 感嘆符をどのように会話に取り入れるかを学ぶ。	「初級英会話」レッスンP16_24	「初級英会話ワークブック」P10_24	
5/22	"Nice to meet you." TPO に応じた挨拶の仕方を選び、臨機応変な対応が出来るようになる。	「初級英会話」レッスンP16_25	「初級英会話ワークブック」P10_25	
5/29	"How!! New York is a Wonderful city!" 感嘆符をどのように会話に取り入れるかを学ぶ。	「初級英会話」レッスンP16_26	「初級英会話ワークブック」P10_26	
6/5	第二回小テスト			
6/12	"How!! New York is a Wonderful city!" 感嘆符をどのように会話に取り入れるかを学ぶ。	「初級英会話」レッスンP16_28	「初級英会話ワークブック」P10_28	
6/19	"How!! New York is a Wonderful city!" 感嘆符をどのように会話に取り入れるかを学ぶ。	「初級英会話」レッスンP16_29	「初級英会話ワークブック」P10_29	
6/26	"Nice to meet you." TPO に応じた挨拶の仕方を選び、臨機応変な対応が出来るようになる。	「初級英会話」レッスンP16_29	「初級英会話ワークブック」P10_29	

図 4.1-10-2 授業科目一覧画面 3

図 4.1-11 に単位修得履歴画面を示す。この画面では取得単位数や卒業に必要な単位数を見る事ができる。

● 単位修得履歴

The screenshot shows a web browser window titled "Syllabus@Net - Windows Internet Explorer" with the URL "http://www.sorun.co.jp/solution/data/syllabus@net_demo/student/record/record.html". The page displays a table titled "単位修得履歴" (Unit Completion History).

名前	学生証番号	学部	学科	入学年度	在籍状況
山田一郎	123456	法	法律	1999	在籍
取得単位数合計		35	一般教育・必修科目	15	
			一般教育・選択科目		
			専門教育・必修科目		
			専門教育・選択科目	10	
			その他	10	
卒業までの残単位数		115	一般教育・必修科目	55	
			一般教育・選択科目		
			専門教育・必修科目		
			専門教育・選択科目	40	
			その他	20	
単位取得済み科目		一般教育・必修科目	経営学		
		一般教育・必修科目	初級フランス語		
		一般教育・必修科目	体育(水泳・ソフトボール)		
		一般教育・選択科目	心理学		
		一般教育・選択科目	社会学		
		一般教育・選択科目	生物A		
		専門科目・必修科目	国際法		
		専門科目・必修科目	法律学概論		
		専門科目・選択科目	民法B		
		専門科目・選択科目	法律実習		

図 4.1-11 単位修得履歴

図 4.1-12 に登録済時間割を示す。この画面ではいままで修得した時間割をみる事ができる。

- 登録済時間割

登録済時間割

2000年度・前期
2000年度・後期
1999年度・後期
1999年度・前期

表示

氏名 山田一郎 学生証番号 123456 単位数合計 40

	月	火	水	木	金	土
1	英会話A 【Mr. Smith】 214	経済学 【鈴木 圭】 225				
2	法学 【坂部 純子】 413	世界史 【小林隆夫】 115	マクロ経済 【井藤隆史】 115		消費者行動 【竹内 潤】 355	政治学 【会田由起子】 115
3		経済学原論 【浦野良平】 441				
4	経済学演習 【川口 満】 431		アメリカ経済史 【小林京子】 541			
5						
6						
7						

卒業研究 集中講義

図 4.1-12 登録済時間割

図 4.1-13 に質問箱画面を示す。この画面では教務課、学生課、就職課へのいずれかを選び、件名、内容を書いて質問を送ることができる。

- 質問箱画面

質問箱

宛先 教務課
件名
内容

送信 メニューに戻る

図 4.1-13 質問箱画面

図 4.1-14 におしらせ掲示板画面を示す。この画面では大学からの授業連絡や事務連絡から自分の知りたい連絡情報を選んで見ることができる。

- おしらせ掲示板



図 4.1-14 おしらせ掲示板 1

授業連絡を選択した場合には次の図 4.1-15 のような画面になる。

- おしらせ掲示板 2



図 4.1-15 おしらせ掲示板 2

図 4.1-16 にパスワード変更画面を示す。この画面ではログインパスワードの変更を行うことができる。パスワード変更画面でも、ログイン画面と同じようにキーボードからでもマウスからでも入力できるようである。

- パスワード変更



図 4.1-16 パスワード変更画面

- 教授がログインした場合

教授がログインした際の画面は学生のものとは違い、学生では時間割登録画面だったものが授業科目内容登録となっており、自分の担当している授業を確認できるものであった。他には、学生検索画面が追加されていた。学生に必要であったものは全て省かれ、教授専用のものとなっている。図 4.1-17 に教授がログインしたときの画面を示す。この画面では教授が使いたい機能を選ぶことができる。

- 教授がログインした時の画面



図 4.1-17 ログイン画面

図 4.1-18 に学生検索画面を示す。この画面では、指定した条件の学生を検索することが可能である。

- 学生検索画面

NO.	学生証番号	氏名	学部	学科	学年	受講科目	在籍状態
1	111006	伊藤 啓吾	法学部	法律学科	1	英会話A	在籍
2	110470	田中 博子	法学部	法律学科(夜)	1	法律学	在籍
3	123456	山田 一郎	法学部	法律学科(留)	1	経済学	在籍

図 4.1-18 学生検索画面

図 4.1-19 におしらせ掲示板の画面を示す。この画面では、学生でログインした時と違い、読み取り専用ではなく、書き込むことができる。

- おしらせ掲示板



図 4.1-19 おしらせ掲示板

最後に教務課がログインした時の画面を図 4.1-20 に示す。この画面では教務課がしたい機能を選ぶことができる。学生のものとも教授のものとも大きく異なっているのはマスターデータメンテナンスである。

- 教務課がログインした時の画面



図 4.1-20 ログイン画面

メンテナンス画面では科目情報や学生情報等、すべてを登録や削除のメンテナンス

を行うことができる。その一部である授業科目のメンテナンス画面を図 4. 1-21 に示す。

図 4. 1-21 メンテナンス画面

4. 2 システムのモデル化

学生・教授・教務課ともにオンライン履修登録システムにアクセスし、そこからログインすることで各自違ったメニューが表示される。学生であれば、時間割登録画面・講義情報・授業科目内容・単位取得履歴・登録済時間割表示・質問箱・パスワード変更・お知らせ掲示板・終了の 9 つが表示される。教授だと授業科目内容登録・学生検索・お知らせ掲示板登録・パスワード変更・終了の 5 つが表示される。教務課であると、マスターデータメンテナンス・データ検索・お知らせ掲示板登録・履修情報検索・授業科目内容登録・授業科目スケジュール・パスワード変更・講義情報登録・終了の 9 つが表示される。

これらを踏まえ、オンライン履修登録システムのモデルの図を作った。それを図 4. 1-22、4. 1-23、4. 1-24、4. 1-25 に示す。

- オンライン履修登録システムのモデル

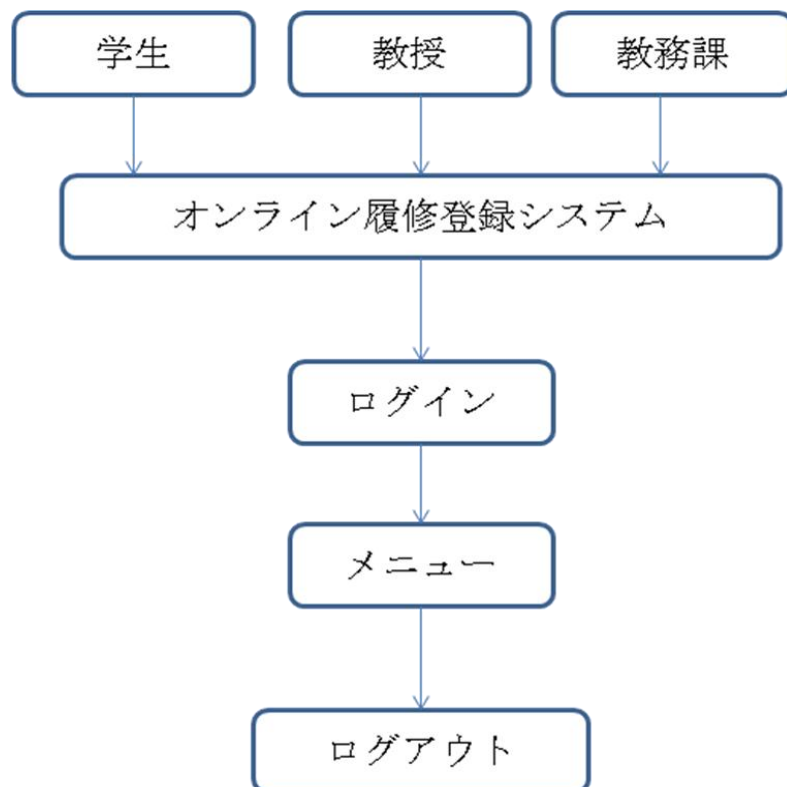


図 4.1-22 オンライン履修登録システムのモデルの流れ

- 学生がログインした場合のオンライン履修登録システム

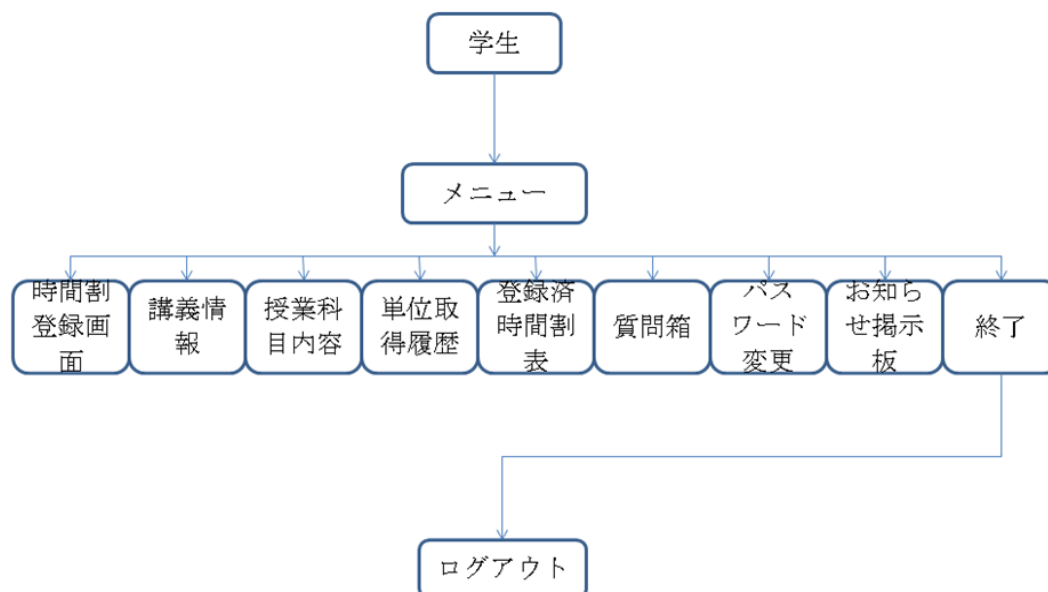


図 4.1-23 学生のメニューのモデル

- 教授がログインした場合のオンライン履修登録システム

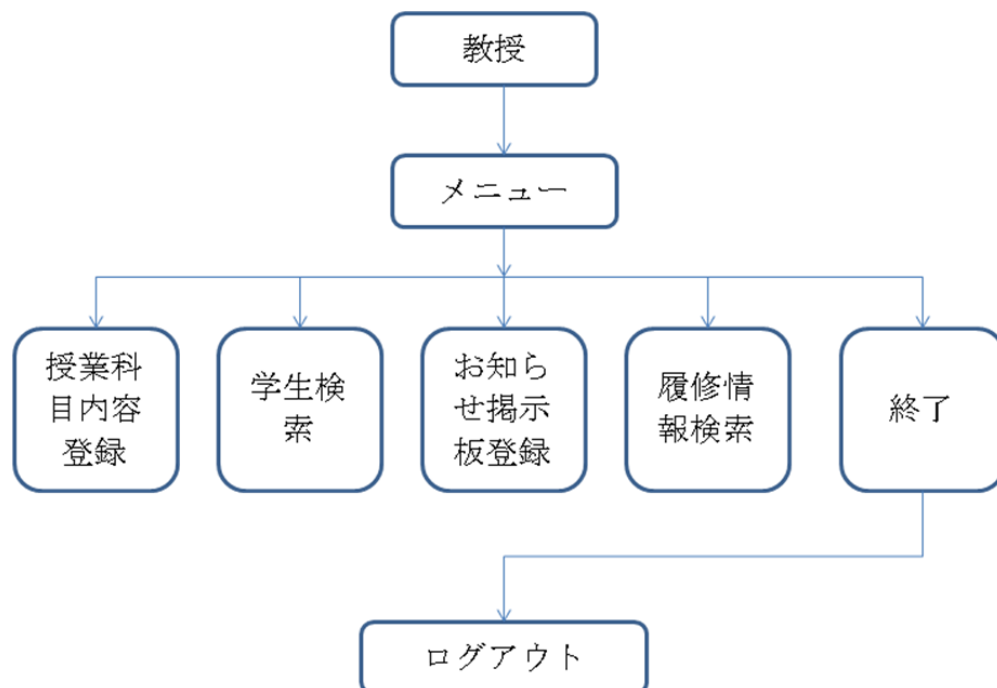


図 4.1-24 教授のメニューのモデル

- 教務課がログインした場合のオンライン履修登録システム

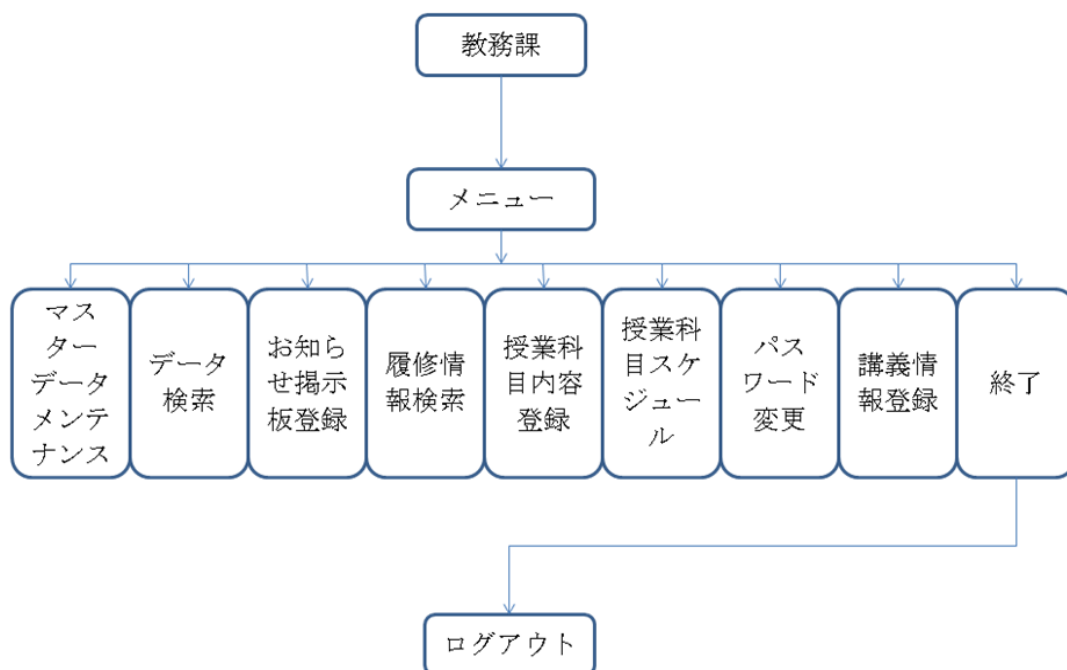


図 4.1-25 教務課のメニューのモデル

4.3 システムの目標

履修登録システムがオンラインになるだけでは取って代わるだけである。それだと資源的な問題は解消されるが、それ以外にメリットがない。

システムの目標は神戸学院大学のようなオンライン履修登録システムの公開時間が決められているものではなく、いつでもシステムを利用できる環境が良い。神戸学院大学では携帯電話からのログインができ、緊急ニュースや個人宛のお知らせ、休補講の確認もすることができたが、さらに Web 履修登録システムが使えれば尚良い。そうするといつでもどこでもオンライン履修登録システムが利用可能となり、学生にとってとても嬉しいサービスになる。

5. 本学におけるオンライン履修登録システム

この章では本学のオンラインシステムの現状について述べる。

5.1 本学のオンラインシステムの現状

本学 Web サイトのトップページから、「在学生の方へ」をクリックし、「学事歴・シラバス・時間割」をクリックすると学部を選ぶ画面に飛ぶので、そこで政策情報学部の学事歴をクリックすると、次の図 5.1-1 のような画面になる。

● 学事歴



図 5.1-1 学事歴

同じように学事歴でなくシラバス・時間割をクリックすると次のような図 5.1-2、5.1-3 の画面になる。政策情報学部と商経学部で違って、政策情報学部のシラバスが図 5.1-2 で商経学部のシラバスが図 5.1-3 である。

● 政策情報学部のシラバス

千葉商科大学 政策情報学部 平成20年 開講科目/シラバス

2008年度 開講科目/シラバス

CHIBA UNIVERSITY OF COMMERCE

■シラバス一覧
 (専攻別)
 ツール科目群
 レクチャー科目群
 専攻課程科目
 (秋学期)
 ツール科目群
 レクチャー科目群
 専攻課程科目
 専攻課程科目

■科目一覧
 ・科目一覧
 ・科目一覧<テーマ研究会>

■教員一覧

■時間割
 ・春学期
 ・秋学期

■キャンパスマップ

※専任教員、兼任教員(商経学部の専任教員)は、教員名をクリックすると教員プロフィールが表示されます。

ツール科目群(春学期)

※科目名をクリックするとシラバスが表示されます。

年次	授業科目	担当教員	単位数
1年次	1年英語(A)1	MILLER, Kevin David	1
	1年英語(A)1	石田 早苗	1
	1年英語(A)1	古賀 裕章	1
	1年英語(A)1・(A)2	斎藤 百合子	1
	1年英語(A)1・(A)2	近藤 恭子	1
	1年英語(A)1・(A)2	石黒 健一	1
	1年英語(B)1	船尾 洋子	1
	1年英語(B)1・(B)2	鈴木 宏枝	1
	1年英語(B)1・(B)2	遠藤 智子	1
	1年英語(B)1・(B)2	石黒 健一	1
	1年英語(C)1	Margret Boyce THOMSON, Titus	1
	1年英語(C)1・(C)2	石黒 健一	1
	1年英語(D)1・(D)2	石黒 健一 石田 早苗 古賀 裕章 新川 清治	1

図 5.1-2 シラバス 1

● 商経学部のシラバス

CHIBA UNIVERSITY OF COMMERCE

SYLLABUS

平成20年度

科目名:

教員名:

検索 リセット

検索したい科目名・教員名を入力して、検索ボタンをクリックして下さい。

希望の科目をクリックして下さい。

ツール科目群

- 人工言語
- 自然言語
 - 英語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - 中国語
 - スペイン語
 - 日本語
 - 韓国語
- 会計言語
 - (商学科)
 - (経済学科)
 - (経営学科)
- インセンティブ・スタディ
- スポーツトレーニング

総合科学科目

- 人間を知る
- 社会を把握する
- 自然を探究する
- 現代を生きる

専攻科学科目

- (3学科共通)
- (商学科)
- (経済学科)
- (経営学科)

教職課程科目

- キャリアアップ科目

セミナー科目群

- 研究 I
- 研究 II
- 研究 III

コースカリキュラム

- 商学科
 - 商学総合コース
 - マーケティングコース
 - ファイナンスコース
 - アカウンティングコース
- 経済学科
 - 国際経済コース
 - 産業経済コース
 - 環境と福祉コース
- 経営学科
 - ビジネスマネジメントコース
 - グローバルマネジメントコース
 - 起業家マネジメントコース
 - ビジネス会計コース
- 学部共通(副専攻コース)
 - 言語文化コース
 - 情報コース

千葉商科大学のホームページへ

図 5.1-3 シラバス 2

科目をクリックすると、どちらもその科目の担当者、開講期など詳しく書かれている。しかし商経学部の方では見ての通り科目名、教員名での検索をかけることが可能である。ちなみに、大学院にも同じ項目があり、選択すると政策情報学部と同じレイ

アウトの画面だった。商経学部は学科が多いからか、時間割という項目まであった。それを図 5.1-4 で示す。この画面では、学科を選び、時間を指定することでその時間の講義を見る事が可能なようである。

- 商経学部時間割図



学年	履修コード	科目名	担当教	授業	コースコード
1	24213	研究基礎B	伊藤 康	229A	
2	21232	2年英語(D)Ⅱ	金子 麻子	227	
2	21235	2年英語(D)Ⅱ	小林 忠好	211	
2	21236	2年英語(D)Ⅱ	石井 希子	225	
2	21234	2年英語(D)Ⅱ	石塚 梓	228	
2	21233	2年英語(D)Ⅱ	林 望子	222	
2	21231	2年英語(D)Ⅱ	飯尾 郁	223	
3	27920	総合演習	鹿嶋 研之助	220	
3	27919	総合演習	中澤 興起	220	
4	18622	研究Ⅲ	岡崎 哲郎	221	
4	18620	研究Ⅲ	木田 三郎	523	
1・2・3・4	25514	トランジション	今村 卓郎		
1・2・3・4	26113	言語学	戸村 幸一	421	91
1・2・3・4	26222	社会思想史	末野 光則	213	

図 5.1-4 商経学部時間割図

これ以外にも「在学生の方へ」から「WWW サービス」をクリックすると、e ラーニングや Web 掲示板、求人票の照会、企業照会、蔵書検索、CUC Wellness System（体育予約システム）などの WWW 上で利用できるサービスがある。

WWW 学生サービスでは、休講・補講情報、求人票の照会、企業照会、進路希望入力などが行える。利用するには、WWW サービスにログインする必要がある。ログイン画面を図 5.1-5 に示す。

- WWW サービスログイン画面



図 5.1-5 ログイン画面

ここでログインすると、就職管理画面と掲示板（休講・補講情報）を見ることができる。掲示板機能を使いたかったが、今学期講義をひとつも取っていないためか、何も表示されなかった。就職管理画面で企業照会を行ってみた。その画面を図 5.1-6 に示す。

- 企業照会



図 5.1-6 企業照会

先ほど講義を履修していないため掲示板（休講・補講情報）が見られないと述べたが、自分専用の履修した抗議のものではないが、教務第二課からお知らせで政策情報学部に関する告示・案内があった。そこから補講の講義についても見られたので、図 5.1-7、図 5.1-8 に示す。

● 教務第二課からののお知らせ



図 5.1-7 教務第二課からののお知らせ

● 補講情報

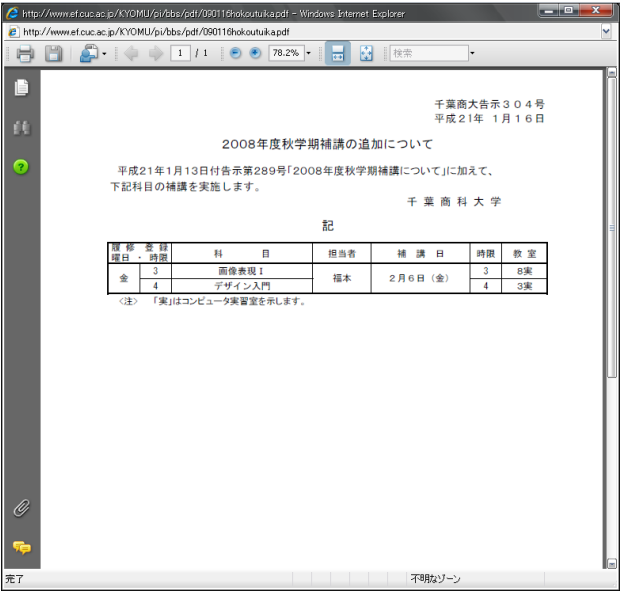


図 5.1-8 補講情報

次に CUC Wellness System について述べる。これは政策情報学部のウェルネス科目の履修をオンラインで行えるというシステムである。このシステムができる以前は体育館 1F のウェルネスセンター窓口でウェルネス科目の履修を行っていた。このシステムを利用するのもログインが必要なのでその画面を図 5.1-9 に示す。

● ウェルネスログイン画面



図 5.1-9 ウェルネスログイン画面

ログインするとウェルネスの予約やキャンセルができる他、自分の履修履歴を見ることができる。

● ウェルネス画面

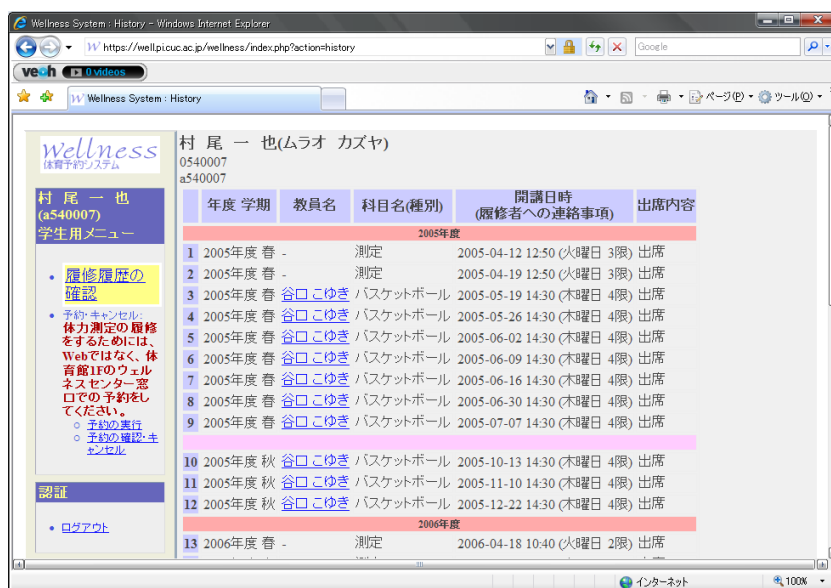


図 5.1-10 ウェルネス画面

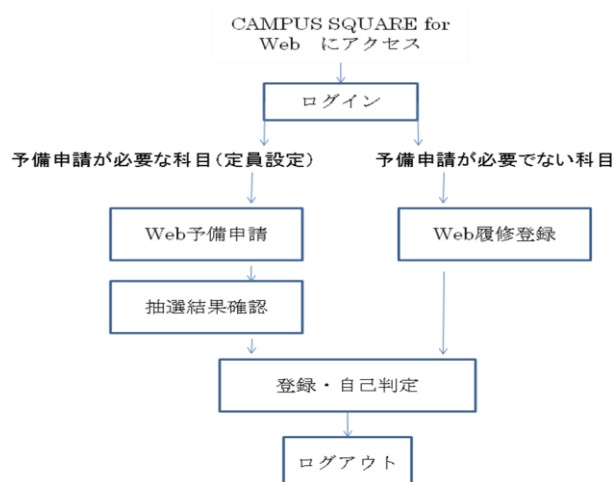
本学はオンライン履修システムがないにしても、学事歴・シラバス・時間割、WWWサービスなどで履修以外のシステムは多く存在している。

5.2 本学で導入予定のオンライン履修登録システム

本学でも来年 2009 年の 4 月からオンライン履修登録システムを導入予定である。システムは先ほどの 3 章で述べた成城学園でも使っている CAMPUS SQUARE である。このシステムは新日本製鐵株式会社さんによって構築される。政策情報学部は 1, 2, 3 年生までの導入予定で、商経学部は 1 年生のみの予定である。あくまで試験的なものなので、必要最低限の機能だけを実装するようだ。テスト画面はまだないので、成城学園のシステムで話を進めていく。ただし、カスタマイズは違う可能性がある。

履修登録の流れは、まず Web システムにログインし、自分の履修したい科目を選んでいく。ここで重要なのは、定員設定科目と一般科目の違いである。一般科目ならば期間内ならば自分の好きに登録・キャンセルを行うことができるが、定員設定科目では定員数が決められているため短い期間が決められている。その期間内ならば選択やキャンセルは自由であるが、期間が過ぎ抽選結果が表示されると登録された科目はキャンセルすることができない。その期間内を過ぎても定員が余っているものについては二次募集という形で早いもの順に登録することができる。その様子を図 5.2-1 に示す。

● オンライン履修登録の流れ



5.2-1 登録の流れ

ログインの方法だが、現状としてはシステムの稼働時間や、外部からの接続は未定である。ログイン画面は次の図 5.2-2 のようになっている。

- ログイン画面

CAMPUS
SQUARE
for WEB

SEIJO UNIVERSITY

JavaScriptは有効ですか?
cookieは有効ですか?
[OK]表示されない場合は[こちら](#)

ユーザ名とパスワードを入力してログインボタンを押して下さい。
初めてご利用になる場合にはパスワードに初期パスワードを入力して下さい。

ユーザ名
パスワード

このサイトはInternet Explorer6.0/Netscape7.0以上のブラウザでご覧下さい。

図 5.2-2 ログイン画面

この図 5.2-2 にあるユーザ名とパスワードを入力しログインを押すとシステムにログインできる。初めてログインする場合だとパスワードには学校で指定された初期パスワードを入力する。すると図 5.2-3 のような画面になる。ここで任意のパスワードを入力する。パスワードが設定されるとトップ画面になる。

図 5.2-3 初期設定

パスワードの設定が終わると、ここで初めてオンライン履修登録や成績を参照することができる。メニュー画面を図 5.2-4 で示す。この画面では、機能の一覧を見ることができ、選択できる。

● メニュー画面



図 5.2-4 メニュー画面

メニュー画面から履修状況を選択すると、次の図 5.2-5、5.2-6 のような画面になる。この画面では、履修登録を行うことができる。履修登録画面は学期ごとに登録を行う構成になっている。

履修状況						
氏名	心理 誠子		学籍番号	A3N6662		
所属	社会イノベーション学部心理社会学科		年次	1年		
履修登録締切日	2005年04月21日					
この画面で、履修登録の結果を確認することができます。履修登録がなされていない科目については、試験の受験やレポートの提出等は認められませんので注意してください。						
登録完了 履修登録が完了したら押してください						
前期		後期				
月曜日		火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
未登録		5302 物質とエネルギー 渡田野 彰 723	未登録	未登録	5200 イノベーション概論 渡原 光伸 731	未登録
未登録		未登録	シラバス	シラバス	シラバス	シラバス

図 5.2-5 履修状況 1

5222 生命倫理論 小出 真士 322	未登録	5308 比較行動学 小畑 晶子 245	シラバス	5390 教養演習 西居 洋子 53F	シラバス	5012 英語ベーシック・スキルズ 富田 裕子 714	未登録
7453 韓国語(初級) 申 英秀 723	未登録	未登録	シラバス	未登録	シラバス	未登録	未登録
集中・卒論							
集中授業、卒業論文など曜日・時間に関係無い登録の場合に使用します。→							
曜日	時間	授業コード	開講科目名	担当教員名	教室名	シラバス	
その他		7390	テニス(C)	妹尾 江里子	伊勢原グラウンド	シラバス	
CSV出力 履修データを出力する場合に使用します。							

図 5.2-6 履修状況 2

図 5.2-5 の画面中央より左にある後期をクリックすると、学期の表記が後期になる。1 枚目、2 枚目の画面ともに集中・卒論を登録という項目があるが、我が大学では 1，2，3 年生までの導入予定であるため、この項目は使えないと思われる。なお、テーマ研究会も春には実装されず、秋からの導入予定だそうである。

(1) Web 履修登録

次に履修登録方法だが、

1. 授業コードを直接入力する方法
2. 条件を指定して検索する方法

の 2 通りのパターンがある。

1 つ目の授業コードを直接入力する方法は図 5.2-7 等で示す。

- 授業コードを直接入力する方法

図 5.2-7 直接入力画面

上記の画面で前期、後期のどちらかを選び、未登録をクリックする。
すると次の図 5.2-8 のような画面になる。

図 5.2-8 時間割入力

右側のコード入力表からコードを入力する。もしエラーがあった場合には次の図 5.2-9 のような画面が表示される。

図 5.2-9 エラー画面

こうなった場合はブラウザの「戻る」で前の画面に戻り、授業コードの入力をやり直す。

- 条件を指定して検索する方法

さきほどと同じように図 5.2-7 の画面で前期、後期のどちらかを選び、未登録をクリックする。すると先ほどと同じ履修状況＜時間割入力＞画面が表示される。ここで下のほうに注目すると、“不明の場合は時間割検索で検索できます。”とある。そこの「時間割検索」をクリックすると下の図 5.2-10 の画面になる。

図 5.2-10 条件検索

ここで年度・所属は変更せずに、それ以外を自分で条件を設定し検索開始を押す。

教員を指定する際は、全角カタカナで入力する。そうすると設定した条件の科目が図 5.2-11 のように表示される。

時間割検索/検索結果						
1件目 から 28件目 の検索結果を表示しています(全部で 28件あります)						
検索結果ページ: << 前へ 1 次へ >>						
No.	開 講	曜 日	時 限	授業コード	授業科目名	担 当
1	通年	木曜日	1限	1027	英語<1>	井上 美雪
2	通年	木曜日	1限	1152	仏語<初級>	中條屋 進
3	通年	木曜日	1限	1300	経済学	杉本 義行
4	前期	木曜日	1限	1301	経済学講義・演習I	山重 芳子
5	通年	木曜日	1限	1753	経営学総論II	岩崎 尚人
6	通年	木曜日	1限	2036	言語・思考論A-I	岡部 恒治
7	前期	木曜日	1限	2212	英語<中級II>	松田 美作子
8	前期	木曜日	1限	2214	英語<中級II>L	松田 美作子
9	前期	木曜日	1限	2350	英語<上級I>	窪田 三喜夫
10	前期	木曜日	1限	2390	英語<上級I>LS	窪田 三喜夫

図 5.2-11 検索結果

ここで自分の履修したい科目名をクリックすると次の図 5.2-12 のような画面になる。この図 5.2-12 を見てみると、授業コードが入力されているのを確認できる。

CAMPUS SQUARE
for WEB

Menu

履修
予備申請
予備申請参照
履修状況

履修状況<時間割入力>

履修登録する時間割を入力してください

曜日

木曜日

時限

1限

時間割所属

大学・短大

授業コード

2900

コード入力表

A	B	C	D	E	F	G	Z
H	I	J	K	L	M	N	4
Q	P	Q	R	S	T	U	1
V	W	X	Y	Z			0

不明の場合は時間割検索で検索できます。

登録

シラバス参照

クリア

図 5.2-12 入力完了

登録科目の削除方法は履修状況の画面で削除したい授業を選択し、確認画面が出てくるのでそこで削除をクリックする。

履修状況			
氏 名	心理 政子	学籍番号	A5N6662
所 属	社会イノベーション学部心理社会学科	年次	1年
履修登録締切日	2005年04月21日		
この画面で、履修登録の結果を確認することができます。履修登録がなされては、試験の受験やレポートの提出等は認められませんので注意してください			
登録完了		履修登録が完了したら押してください	
前期		後期	
	月曜日	火曜日	水曜日
1限	未登録	5302 物質とエネルギー 波田野 彰 723 シラバス	未登録
			未登録

図 5.2-13 削除選択画面

物質とエネルギーを削除したいならば、その授業コードである5302をクリックする。すると次のような画面になり、削除をクリックすれば、履修状況画面に戻る。

履修状況<時間割削除>	
以下の時間割を削除します よろしいですか？	
曜日	火曜日
時限	1限
時間割所属	大学・短大
授業コード	5302
開講科目名	物質とエネルギー
削 除	

図 5.2-14 削除確認画面

履修登録を終えたら図 5.2-15 の上部か下部にある登録・自己判定をクリックして登録完了である。

履修状況

氏名	成城 太郎	学籍番号	A123456
所属	経済学部経済学科	年次	4年
履修登録締切日	2006年09月30日		

後期開講の科目も忘れずに登録すること

登録・自己判定 履修登録が完了したら押してください

	前期	後期	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	集中・卒論を登録
1限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
2限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
3限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
4限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録
5限	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録	未登録

集中・卒論 集中授業、卒業論文など曜日・時間に関係無い登録の場合に使用します。→ 集中・卒論を登録

曜日	時間	授業コード	開講科目名	担当教員名	教室名	シラバス
登録されていません						

登録・自己判定 履修登録が完了したら押してください

CSV出力 履修データを出力する場合に使用します。

[他の学生の履修状況を見る](#)

Copyright(c) 2001-2004 NS Solutions Corporation, All rights reserved.

図 5.2-15 登録・自己判定

この登録を終えると、登録をした科目を修得すると卒業や進級が可能かどうかを判定される。進級・卒業要件不備の場合では、不足する科目群が表示されるので、履修科目を修正する。その画面を図 5.2-16、5.2-17 で示す。

● 登録科目を修得すれば進級・卒業できる場合

Menu

- 学籍
 - 学籍情報参照
- 履修
 - 予備申請
 - 予備申請参照
 - 履修状況
 - 受講者名簿
 - 受講者数調べ
- 掲示
 - 掲示板登録
 - 掲示板更新
 - 掲示板削除
 - お知らせ掲示板
 - 掲示テンプレート設定
- 休講補講
 - 休講補講登録
 - 教員別休講一括登録
 - 休講補講参照
 - 施設利用登録
 - 施設利用状況参照
 - 主副従科目登録
 - 授業関係のお知らせ

履修状況<結果>

氏名	伊熊 洋一	学籍番号	ASN1010
所属	社会イノベーション学部政策イノベーション学科	年次	2年
クラス	A	出席番号	002
判定所属	社会イノベーション学部政策イノベーション学科	判定年次	2年

判定総合結果

見込判定結果	進級
備考	

判定結果<詳細>

区分	見込判定結果
進級要件単位合計	○
外国語・必修科目(1年次配当)計	○
基礎・必修科目計	○
上記以外の1,2年次配当科目計	○

Copyright(c) 2001-2004 NS Solutions Corporation

図 5.2-16 進級・卒業可能

見込み判定結果が進級となっている。卒業判定の場合は卒業と表示される。

- 進級・卒業要件不備の場合

氏 名	塚元 厚志	学籍番号	A0E1255
所 属	経済学部経済学科	年次	4年
クラス	B	出席番号	040
判定所属	経済学部経済学科	判定年次	4年

判定総合結果

見込判定結果	留年
備考	

判定結果<詳細>

区分	見込判定結果
卒業要件単位合計	×
基礎科目合計	×
基礎・外国語科目小計(I群)	×
基礎・必修科目小計(II群)	○
基礎・選択科目小計(III群)	○
専門科目合計	×
専門・必修科目小計(I群)	×

図 5.2-17 進級・卒業不可能

見込み判定結果が留年となり、下部の判定結果（詳細）で不足しているものが×になる。進級・卒業基準対象外の年次では履修状況画面で登録・自己判定をクリックしても自己判定結果は表示されない。自己判定の結果は図 5.2-18 に示す。

- 自己判定<結果>

氏 名		学籍番号	
所 属	経済学部経済学科	年次	1年
クラス		出席番号	
判定所属	経済学部経済学科	判定年次	1年

あなたの所属する学年は進級・卒業の対象年次ではないため、自己判定結果は表示されません。

【履修登録期間中】

履修登録は完了しました。

履修登録期間中は、引き続き科目の登録・削除を行うことができます。

Copyright(c) 2001-2004 NS Solutions Corporation, All rights reserved.

図 5.2-18 自己判定

「登録・自己判定」は、登録の意思を確認し、自己判定を見るために設けているため、忘れても登録が無効になることはないが、確認のために必ずクリックする。クリ

ックせずにログアウトしようとするすると次の図 5.2-19 のようなアラートが表示される。



図 5.2-19 アラート

「登録・自己判定」をクリックした後も登録確認期間内ならば修正することが可能である。もし履修する科目がない場合でも、必ず「登録・自己判定」をクリックする。

(2) Web 予備申請

定員設定科目では次の図 5.2-20 のような画面になる。

● 予備申請

予備申請<科目区分選択>

氏名	学籍番号
テスト学生1	I7I1001

所属	年次
研究生	1年次

登録期間	年度・学期
2007年02月01日 11:00 から 2007年02月01日 18:00	2007年度 前期

希望する科目を選択してください(予備申請受付中)

予備申請受付中は、申請した科目を削除・修正することができます。
予備申請の結果履修が認められた科目は、自動的に登録されます。
予備申請により登録された科目は、**受付期終了後は取消や変更ができなくなります**ので、履修の手引シラバス等をよく読んでから申請してください。

科目区分	状態
データ解析入門I	未登録
データ解析入門II	未登録
数学入門I	未登録
英語簿記	未登録
経済学講義・演習I	未登録
経済学講義・演習II	未登録
統計入門(経済)/データ分析(経済)	未登録

図 5.2-20 予備申請

予備申請の方法も2通りのパターンがある。

1. 1つの科目区分から、1科目を選択するもの
2. 1つの科目区分から、履修希望科目数を自分で設定するもの

まず、図 5.2-20 の画面で左側にある履修の欄の予備申請をクリックし、右側の希望する科目区分を選択する。

(1) 1つの科目区分から、1科目を選択するもの

例として英語のリスニング&スピーキング（初級）を申請する場合の図

Menu

- 学籍
 - 学籍情報参照
- 履修
 - 予備申請
 - 予備申請参照
 - 履修状況
- 成績
 - 個人成績参照
- 掲示
 - お知らせ表示板
- 休講補講
 - 休講補講参照
- 就職
 - 企業基本情報
 - 求人票
 - 必見情報
 - 学内エントリーシート
 - 就職活動入力
 - 活動報告書
 - 進路決定入力

予備申請<時間割選択>

履修の希望順位を3件まで入力できます

英語リスニング&スピーキング(初級) 履修希望科目数 1

希望 順位	授業 コード	授業科目名	担当者名	実施 学期	曜日 時限	定員	事前 登録 人数	合計	予備申請人数				配当内容	備考
									第1 希望	第2 希望	第3 希望	第4 以上		
3	6410	英語リスニング&スピーキング(初級)	黒坂 尚子	通年	土1	56	0	0	0	0	0	0	全1-4	
1	6412	英語リスニング&スピーキング(初級)	黒坂 尚子	通年	土2	56	0	0	0	0	0	0	全1-4	
2	6414	英語リスニング&スピーキング(初級) C, D, スミス	通年 木3	48	0	0	0	0	0	0	0	0	全1-4	

確認 予備申請を行います ※確認画面が表示されます

削除 この科目区分に登録されている予備申請情報を全て削除します

クリア 画面の入力を初期状態に戻します

Copyright© 2001-2009 NS Solutions Corporation. All rights reserved.

図 5.2-21 英語の申請

履修可能人数は、定員から事前登録人数を差し引いた人数になる。履修希望順位を自分で入力できる。ただし、すべてに記入しなくても申請は可能である。履修希望科目数が1になっているが、この数字の変更はできない。記入が終わったら確認をクリックする。エラーが発生すると次の図 5.2-22 のような画面になる。

Menu

- 学籍
 - 学籍情報参照
- 履修
 - 予備申請
 - 予備申請参照
 - 履修状況
- 成績
 - 個人成績参照
- 掲示
 - お知らせ表示板
- 休講補講
 - 休講補講参照
- 就職
 - 企業基本情報
 - 求人票
 - 必見情報
 - 学内エントリーシート
 - 就職活動入力
 - 活動報告書
 - 進路決定入力

入力エラーが発生しました

エラーコード	エラー内容	対応策
P-IPF-0001	希望順が入力されていません。	希望順を入力してください

OK

入力をやり直してもエラーとなる場合は、下記の担当まで連絡ください

連絡先	教務部
内線番号	
メールアドレス	

図 5.2-22 エラー画面

このようなエラーが発生した場合はエラー内容を確認し、OK をクリックし入力画面に戻り修正を行う。エラーがない場合は次の図 5.2-23 のような画面になる。登録ボタンをクリックすれば登録を行うことができる。

予備申請確認

科目の希望順位に間違いがなければ「登録」ボタンを押してください
希望順位を変更する場合は「戻る」ボタンで予備申請画面へ戻ってください

英語リスニング&スピーキング(初級) 履修希望科目数: 1

希望 順位	授業 コード	授業科目名	担当者名	実施 学期	曜日 時間	定員	事前 登録 人数	合計	予備申請人数				配当内容	備考
									第1 希望	第2 希望	第3 希望	第4 以上		
1	6412	英語リスニング&スピーキング(初級)	黒崎 尚子	通年	土1	56	0	0	0	0	0	0	全1.4	
2	6414	英語リスニング&スピーキング(初級)	C. D. スミス	通年	木3	48	0	0	0	0	0	0	全1.4	
3	6410	英語リスニング&スピーキング(初級)	黒崎 尚子	通年	土1	56	0	0	0	0	0	0	全1.4	

登録 予備申請を行います

戻る 予備申請画面へ戻ります

Copyright© 2001-2009 RS Solutions Corporation. All rights reserved.

図 5.2-23 予備申請確認

(2) 1つの科目区分から、履修希望科目数を自分で設定するもの
例として独語（中級総合）を2科目申請する。

予備申請<時間割選択>

履修の希望順位を5件まで入力できます

独語(中級総合) 履修希望科目数: 2

希望 順位	授業 コード	授業科目名	担当者名	実施 学期	曜日 時間	定員	事前 登録 人数	合計	予備申請人数				配当内容	備考
									第1 希望	第2 希望	第3 希望	第4 以上		
1	2410	独語(中級総合)	三浦 聡子	前期	金3	36	0	0	0	0	0	0	独-1	
4	2411	独語(中級総合)	福本 義衛	前期	月5	36	0	0	0	0	0	0	独-2	
3	2412	独語(中級総合)	田中 裕	前期	水4	36	0	0	0	0	0	0	独-3	
2	2413	独語(中級総合)	大井 真奈	前期	火4	36	0	0	0	0	0	0	独-4	
5	2414	独語(中級総合)	市岡 正通	前期	月2	36	0	0	0	0	0	0	独-5	

確認 予備申請を行います ※確認画面が表示されます

削除 この科目区分に登録されている予備申請情報を全て削除します

クリア 画面の入力を初期状態に戻します

Copyright© 2001-2009 RS Solutions Corporation. All rights reserved.

図 5.2-24 独語申請

先ほど図 5.2-21 では1であった履修希望科目数が、この科目は2科目までのなので2になっている。後の手順は(1)の1つの科目区分から、1科目を選択するものと同じである。

自分が申請した予備申請科目は予備申請参照から見る事ができる。



図 5. 2-25 予備申請参照

申請した科目を削除したい場合は図 5. 2-26 の画面から予備申請メニューをクリックし登録済みの科目区分を選択する。

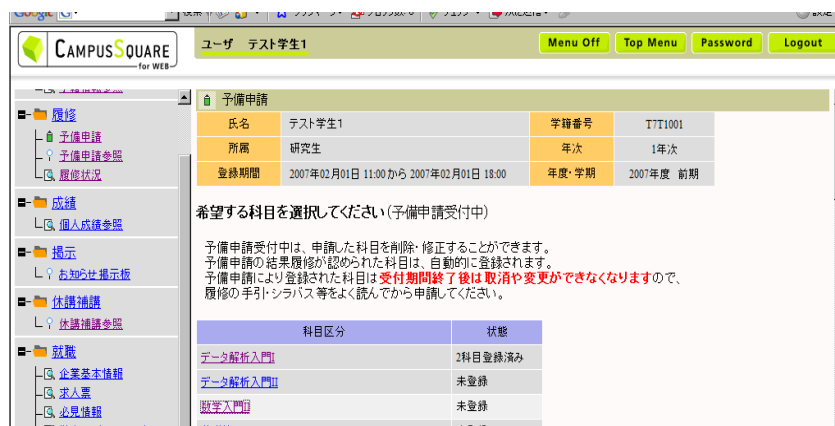


図 5. 2-26 予備申請登録済

図 5. 2-26 の画面で選択済みのデータ解析入門 I をクリックすると次の図 5. 2-27 のような画面になる。この画面で削除をクリックすれば削除完了である。



図 5.2-27 データ解析入門削除

● ログアウト

作業を終えパソコンから離れる場合は、必ずログアウトしブラウザを閉じる。ログアウトすると次の図 5.2-28 のような画面になり、ブラウザを閉じて終了である。

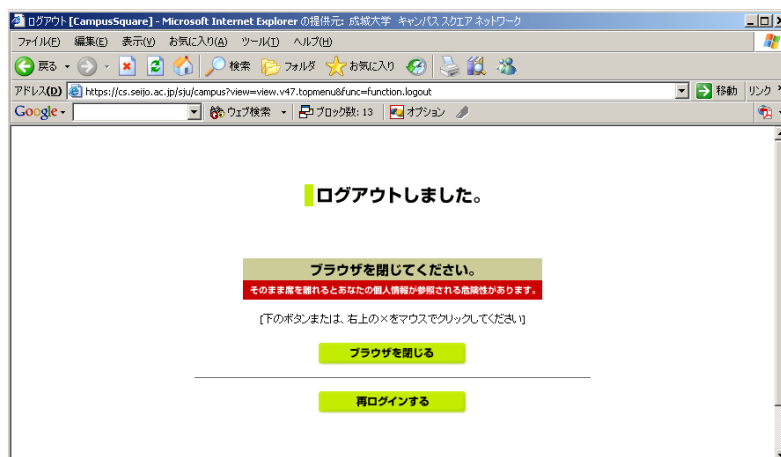


図 5.2-28 ログアウト

5.3 本学と他大学の比較

本学と他大学のオンライン履修登録システムを 6 校調べたところで、システムを表にして比較してみた。○、△、×の三段階で評価し、○は実装されている、△はわからない、×は未実装である。

● 各学校のオンライン履修登録システムの現状

	本学(成城学園)	東京大学	駒沢大学	神戸学院大学	福岡工業大学
時間割登録	○	○	○	○	○
講義情報	○	○	○	○	○
授業科目一覧	○	○	○	○	○
定員設定科目	○	○	○	○	○
登録済み時間割	○	○	○	○	○
掲示情報(休講連絡等)	○	○	○	○	○
単位取得履歴	○	○	○	△	×
学籍情報の変更	△	△	○	×	×
資格希望登録・資格取得単位	△	△	○	×	×
スケジュール管理	×	○	×	×	○
試験日確認	×	○	△	○	△
携帯端末からのログイン	△	△	×	○(一部使える)	○(一部使える)
学生呼び出し	×	△	△	△	○

時間割登録、講義情報、授業科目一覧、定員設定科目、登録済み時間割、掲示情報、の6つはどの大学でも実装されている。ということはこの6つは必要最低限なものと考えられる。オンライン履修登録システムでは時間割登録の際、判定して自分が進級・卒業できるか、その授業は取れるかどうかはわかる。だが自分の目で取得単位を確認したい場合は単位取得履歴が必要である。したがって既に述べた単位取得履歴を含めた7つの項目が重要なものである。他の機能はあればもちろんいいが、なくても困るものではない。

オンライン履修登録システムのメリットは事務作業の効率化ある。外部からの接続ができ、なおかつ時間も24時間履修登録システムが使えるなど、いつでもどこでも利用者が利用できるべきである。学内からのみの接続を許可したり、神戸学院大学のよ

うに時間を指定されていたら、学生への利点が減少する。そこで大学にとってあるべきオンラインでの履修登録システムについて提案したい。

5.4 大学におけるオンライン履修登録システムの提案

(1) 必要条件

学生にとって良いシステムは、いつでもどこでもオンライン履修登録システムが利用可能なのが必要条件である。これが必要条件である理由は先ほどにも述べたが、いつでもどこでもオンライン履修登録システムが利用できなければ、マークシートからWeb履修登録、すなわちオフラインからオンラインになるだけで、資源的な問題は解消されるが学生にとっては紙でやる作業がパーソナルコンピュータでやる作業に移行するだけである。したがって、いつでもどこでもオンライン履修登録システムが利用可能を必要条件とした。

(2) 基本機能

機能は先ほどにも述べた、時間割登録、講義情報、授業科目一覧、定員設定科目、登録済み時間割、掲示情報、単位取得履歴の7つを基本機能としたい。

(3) 追加機能

7つの基本機能に加え、新規に追加したい機能は授業評価や、先学期の履修者数がわかるシステムである。授業評価というのは、学期末に行っているペーパーアンケートの段階評価や学生の意見(Keep、change、challenge等)だ。その集計結果を掲示してあれば、学生が授業を選択する際の目安になるのではないだろうか。といっても、学期末に出されるアンケートで、15分という時間で書くにせよ、段階評価は真面目な学生とそうでない学生の意見でありあまり参考にならないかもしれない。為になったから最高段階を出す生徒もいれば、楽に単位が取れたから最高段階を出す生徒もいるだろう。それといくら真面目な生徒の意見だとしても、履修選択する人とは考えが違うため本当に為になるのかはわからない。あくまでも選択する際の1つの材料としてである。意見の方はいい目安になりそうだが、すべてを載せられるわけではないと思うので、一部抜粋という形になるだろうが、それでも授業の雰囲気が少しでも伝わるならあるといいと思う。

先学期の履修者数がわかるシステムは、どれくらいの人数が授業を履修していたのかわかることだ。あまり気にする人はいないのかもしれないが、私は人数が結構気になる体質で、人数が少ない方が雑音が少なく集中しやすい。それと興味のある授業なのに、人数が多く、生徒への注意が多く授業の進みが遅かったりすると、残念な気持ちになる。先学期の履修者数を見られるだけでなく、A～D の数を知れたら良いのではないかと考えた。例えば、先学期に100人受けた授業があるとして、そのうちに20人がA、30人がB、30人がC、20人がDといった情報である。しかし、これを見てこの授業はDが多いからやめようとなってしまうのは困るので、Dになった理由（20人のうち10人は出席が足りない等）もわかればよい。

（４）システム構成

提案したオンライン履修登録システムを4章で述べたモデルをベースに比べてみる。

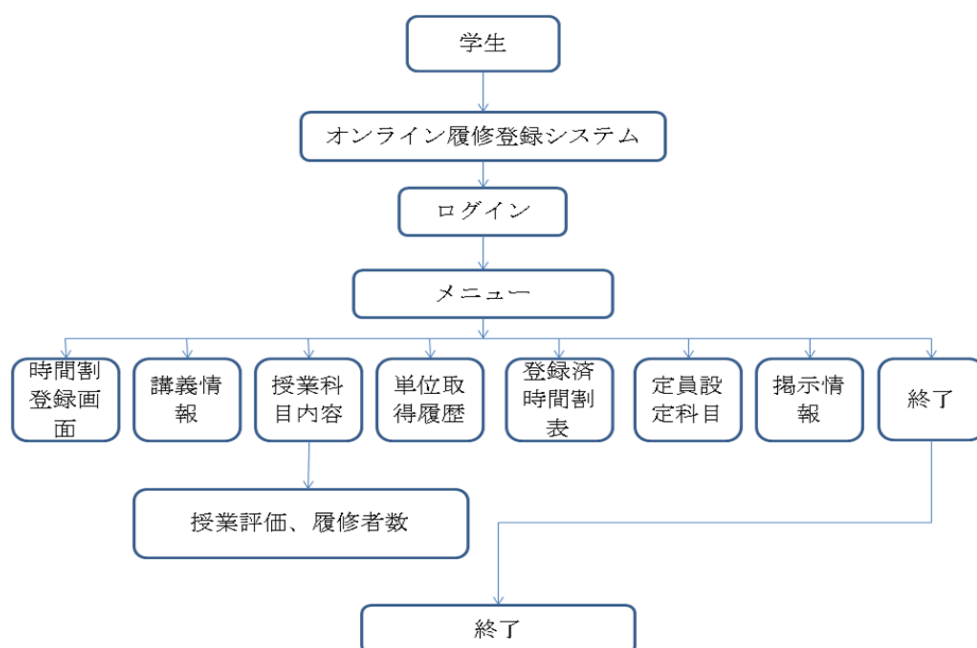


図 5. 4-1 システム構成

5. 5 本学におけるオンライン履修登録システム導入にあたっての考察

我が大学にオンライン履修登録システムを導入するとしたら、問題はいくつかある。

ひとつは学生の自己管理の問題である。オンライン履修登録システムは便利で、イントラネットや時間の指定がなければいつでもどこでも履修登録を行うことができる。しかも、必要な単位まで教えてくれる優れたものである。しかし、それを過信してしま

うと良くないことが起こる。というのは、学生は基本的にだらしがないため、単位の確認や時間割が Web で見られるとなると紙での履修登録確認票は配られなくなるため、選択した時間割や取得している単位を確認せず、取れているつもりで授業に参加する可能性がある。履修登録確認票を配布していた時は取りに来ない生徒には掲示板に張り出されて至急取りに来るように連絡があった。これがなくなるわけなので、オンライン履修登録システムでも、学生がきちんと確認したという証拠を得られるようなシステムがあれば良い。例えば、インターネットでのサービスの利用規約書の同意のようなものがあれば良いだろう。

もうひとつは、コンピュータネットワークの脆弱性である。脆弱性は明白な欠陥だけでなく、予期しない潜在的な問題で起こることも十分にありえる。これについては学生だけでなく、学校全体の問題になる。これにより本来権限のないユーザ、例えば学生ではできない操作を学生が行い単位の改竄などが行われたり、見えてはいけない情報、例えば学生の個人情報が見えてしまったりである。コンピュータネットワークの脆弱性についてだが、ウイルス対策、ファイアウォール等のシステムでセキュリティを強化していても、ある程度は危険を排除できるが万全とはならない。なので、システムだけで安心するのではなく、日々確認することが大切であると思う。

他にも既存のオンラインシステムとの問題もある。先ほど述べたが、本学にはオンライン履修登録システムはないが、WWW サービスが存在していて、ウェルネスの履修や個人の休講・補講情報を見ることができる。他大学ではオンライン履修登録システム、休講・補講情報などはひとつのシステムとして成り立っている。本学でオンライン履修登録システムが導入されても、WWW サービスと別のシステムでは使い勝手が悪い。そのためオンライン履修登録システムと WWW サービスのシステム統合が必要である。

6. まとめと今後の課題

6.1 まとめ

本研究では、本学のマークシート方式での履修登録システムを始め、大学における既存のオンライン履修登録システムや、本学で導入予定であるシステムを調査した。他大学では既にオンライン履修登録システムを導入しているところも多く、マークシート方式とオンライン履修登録システムの違いや、オンライン履修登録システムにどの機能が無くてはならないのか、あれば便利なのかが明らかになった。そこで本学にオンライン履修登録システムが導入される際、どのような機能があれば利用する人が喜ぶシステムなのかを検討した。それを踏まえ、学生が便利だと思う機能を提案した。

6.2 今後の課題

他大学でのオンライン履修登録システムをサーベイしたが、実際に他大学のシステムをみたわけではないので、他大学に行き、実際にオンライン履修登録システムを使わせてもらい、評価を行いたい。本学の学生にオンライン履修登録システムのアンケートを取り、必要な機能や追加したい機能を調査する。本学におけるオンライン履修登録システムの提案までできたが、システムの設計や、運用・実装はできなかった。したがって今後の課題はシステムを設計し、運用・実装を行い、それに対しての評価・考察を行うことである。

参考文献

- [1] 浦野 晋介「オンライン履修管理システム『COMS』の開発」
平成 17 年、1 ページ～
- [2] 藤田 悟史「オンライン履修登録システムの開発」
平成 13 年 1 ページ～
- [3] 前田 誠「オンライン履修登録システムの作成」
平成 13 年 1 ページ～
- [4] 吉牟田 裕「Web による履修登録システムの構築と運用」
平成 16 年、1 ページ～
- [5] 神戸学院大学 ホームページ
〈<http://www.kobegakuin.ac.jp/>〉 平成 20 年 10 月 10 日
- [6] 駒沢大学 ホームページ
〈<http://www.komazawa-u.ac.jp/>〉 平成 20 年 10 月 10 日
- [7] ソラン株式会社 ホームページ
〈<http://www.sorun.co.jp/>〉 平成 20 年 9 月 7 日
- [8] 千葉商科大学 ホームページ
〈<http://www.cuc.ac.jp/>〉 平成 20 年 10 月 10 日
- [9] 東京大学 ホームページ
〈http://www.u-tokyo.ac.jp/index_e.html〉 平成 20 年 10 月 10 日
- [10] 福岡工業大学 ホームページ
〈<http://www.fit.ac.jp/>〉 平成 20 年 10 月 10 日
- [11] 成城学園 ホームページ
〈<http://www.seijo.ac.jp/>〉 平成 20 年 10 月 10 日

謝辞

本研究を行うに当たり、ご指導を頂いた渡辺 恭人准教授に感謝いたします。論文の構成・執筆に至るまで、親身にご指導いただいたお陰で、私の実力以上のすばらしい卒業論文となりました。感謝の念でいっぱいです。私自身の大きな自身になったと思います。

渡辺ゼミでは、研究室で和やかに、且つ的確な指導をしていただきました。授業の中で、興味をもつテーマを聞く事ができ、その議題から本研究が始まりました。研究を始めて、約1年が経ちました。本研究が卒業論文として提出出来たことは大変嬉しく思えます。ここまでの過程には多くの問題がありましたが、その都度、渡辺准教授にアドバイスをいただき、また手助けしていただいたおかげで、ここまで研究を進めることができました。

最後に、私の卒論に関わって下さった方全員にもう一度感謝を述べさせて頂き謝辞とさせていただきます。ありがとうございました。